



2015年8月14日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 コーポレートガバナンス推進担当
 IR・グループ広報
 TEL 03-6895-0178

2015年7月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	7月度	3～7月度累計
百貨店事業	6.2	0.7
パルコ事業	5.7	3.8
卸売事業	10.1	16.6
クレジット事業	▲ 0.8	▲ 3.9
その他事業	0.8	▲ 2.1
連結合計	6.2	1.8

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・7月度の百貨店事業の売上高は、西日本・中部地区の店舗を中心に中旬の台風によるマイナス影響を受けたものの、クリアランスセールスタートが前年は6月であったものが、本年は7月になったことによるプラス効果に加え、セール期間中の定価商品が好調に推移したこと、訪日外国人客の活発な消費により、ラグジュアリーブランドや宝飾品、化粧品が大幅に売上を伸ばしたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年6.9%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同6.2%増となった。

2) パルコ事業

- ・前年は6月27日にスタートした名古屋パルコのセールを本年は7月1日から開催したことに加え、セール期間中に開催した集客型イベントがヒットしたほか、梅雨明け以降、身回品や雑貨などを中心に好調に推移したことなどから、パルコ事業全体では対前年5.7%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、電子デバイスが大幅に売上を伸ばし好調を持続したことから、対前年10.1%増となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、割賦販売手数料や年会費収入などが増加したものの、前年に大幅増となった加盟店手数料が減少したことから、対前年▲0.8%減となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装がグループ外の内装工事の売上計上などにより好調であったことから、対前年0.8%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートガバナンス推進担当 IR・グループ広報
TEL	03-6895-0178	
FAX	03-6674-7565	

2015年7月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	7月度		3～7月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	16.5	0.5	14.3	▲2.9
大丸 梅田店	10.7	▲11.6	5.6	▲15.3
大丸 東京店	8.7	▲0.2	3.3	▲4.4
大丸 浦和パルコ店	▲3.4	▲4.7	▲4.7	▲4.8
大丸 京都店	0.9	▲14.1	▲0.9	▲12.9
大丸 山科店	▲5.1	▲5.1	▲6.4	▲6.5
大丸 神戸店	6.2	▲6.9	▲2.5	▲10.4
大丸 須磨店	▲5.2	▲13.0	▲5.9	▲12.8
大丸 芦屋店	▲2.7	▲9.9	▲3.5	▲10.1
大丸 札幌店	12.2	▲7.0	3.7	▲10.2
松坂屋 名古屋店	7.2	▲0.6	▲1.0	▲5.8
松坂屋 上野店	▲4.1	▲14.0	▲7.0	▲19.4
松坂屋 静岡店	2.5	▲4.3	▲6.0	▲7.3
松坂屋 高槻店	▲4.9	▲16.7	▲6.2	▲18.5
松坂屋 豊田店	▲0.0	2.8	▲2.9	▲0.8
大丸松坂屋百貨店合計	6.9	▲6.5	1.3	▲9.6
博多大丸	3.0	0.3	▲3.2	▲3.8
下関大丸	▲3.2	▲5.3	▲7.3	▲8.2
高知大丸	▲1.6	▲2.4	▲5.1	▲2.6
百貨店事業合計	6.2	▲6.0	0.7	▲9.2

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	7月度	3～7月度累計
紳士服・洋品	7.2	1.7
婦人服・洋品	13.7	1.2
子供服・洋品	15.7	0.7
その他の衣料品	0.3	▲11.4
衣料品計	12.0	0.7
身回品	9.9	▲2.1
化粧品	25.9	18.0
美術・宝飾・貴金属	26.5	10.0
その他雑貨	16.3	26.4
雑貨計	25.2	14.7
家具	▲11.8	▲20.2
家電	▲24.3	▲8.7
その他の家庭用品	▲1.5	▲2.5
家庭用品計	▲4.4	▲7.0
生鮮	▲0.3	0.2
菓子	0.2	▲1.2
惣菜	▲0.0	1.3
その他食料品	▲3.6	▲2.8
食料品計	▲1.3	▲0.7
食堂・喫茶	3.8	0.4
サービス	18.6	8.7
その他	▲12.9	▲3.4
合計	6.9	1.3

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが前年の3割増となったほか、クリアランスセールが7月にスタートしたことから、婦人服・洋品、紳士服・洋品ともに、定価・セール商品がそれぞれプラスとなるなど好調に推移した。身回品は、婦人・紳士靴がそれぞれ2桁増となったほか、かばん、アクセサリなども売上を伸ばした。雑貨は、時計が前年の5割増、宝石は2桁増と大幅に売上を伸ばし好調を持続したほか、化粧品も2割増となった。家庭用品は、名古屋店第3期改装工事による売場面積減少の影響が大きくマイナスとなった。食品は、名古屋店において大型催事の開催が8月に後ろ倒しになったことなどが影響した。